

技術職員研修
技術（研究）発表報告集 19



京都大学総合技術部
2013. 1

まえがき

総合技術部長・工学研究科長 北野 正雄

京都大学は世界に卓越した知の創造拠点として、学術文化を一層深化させるとともに、質の高い教育研究を推進し、社会の課題解決、進展に貢献することを使命として掲げています。大学の教育研究活動の現場である、学部・研究科、研究所・センターや全学機構には教員、事務職員に加えて、技術職員がそれぞれ配置され、高度な専門性を要する技術開発、教育研究支援、各種システム、装置、機器の管理、サービス業務などを行っています。

近年の教育研究活動の高度化、大学法人化などに伴う業務の量的、質的増加に対応するため、総合技術部は平成18年度から新たな体制で活動を開始し、技術職員の技術力向上のための研修等を実施するようになりました。以来6年近くが経過しましたが、その成果はゆっくりではありますが、着実に表れていると思います。京都大学のさらなる発展に向けて、学内外への積極的かつ包括的な情報発信、安全で機能的なキャンパス環境の確保など、新しい業務の高度化と充実が課題となっています。京都大学が直面するこれらの課題解決に向けて、総合技術部は多様な分野における技術的専門家を擁する、部局横断型組織として活躍が期待されています。

少し話は変わりますが、近年、世の中では「技術の劣化」があちこちで目に付くようになってきました。工場やプラントでの事故、故障しやすい電化製品、コネクタや電池などに見られる規格を尊重しないその場限りの製品づくり、機能が肥大化して使いにくいソフトウェアなど枚挙にいとまがありません。このような退化現象は技術や技術を支えている人材を軽視する風潮の結果に他なりません。このような流れを止める上で、大学の役割は小さくないと思われまます。次世代を担う若者に技術の真価を見せつけるという場面を、技術職員の方々にはぜひ作っていただきたいと思います。

この報告集を通して、京都大学総合技術部の業務の現状や、さまざまな取り組みをご理解いただき、一層のご支援をいただくとともに、今後の活動の方向性に関してご意見お寄せいただきますようお願いいたします。

目 次

技術職員研修 (第36回)	1
研修日程表	3
技術専門職員講義 報告書	4
『京都大学における学術情報基盤整備の現状』	5
赤坂 浩一 (情報部 情報基盤課)	
『化学系学生実験の運営と支援業務』	9
吉田あゆみ (人間・環境学研究科)	
『抵抗をはかる』	13
宮嶋直樹 (工学研究科)	
平成23年度京都大学技術職員研修(第36回)報告書	17
阿部邦美 (総合技術部研修担当 理学研究科)	
技術職員研修 (専門研修)	29
第1 専門技術群 (工作・運転系)	30
第2 専門技術群 (システム・計測系)	34
第3 専門技術群 (物質・材料系)	48
第4 専門技術群 (生物・生態系)	118
第5 専門技術群 (核・放射線系)	123
第6 専門技術群 (情報系)	136
技術職員研修 (個人研修等)	144
総合技術部個人研修実施要領	145
個人研修等の専門技術群・部局別の実施数	146
前期個人研修	147
後期個人研修	163
個人研修(技術研究会)	178

技術職員研修
(第36回)

研修日程表

技術専門職員講義 報告書

技術職員研修
(専門研修)

技術職員研修
(個人研修等)